

法 学 研 究 科

1. 法学研究科の教育研究上の目的及び人材養成の目的

法律学専攻

本専攻は法学・政治学の研究者の養成、並びに、この素養を身につけた社会人を送り出すことを目的とする。

現代社会では、研究者は自分の専門領域に特化しているだけで足りるものでなく、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を身につけていなければならない。社会人を積極的に受け入れ、研究者養成とともに、法学・政治学の素養を身につけた人材の養成を目指す。

2. 各専攻のディプロマ・ポリシー

法律学専攻

本課程では、法学・政治学研究者の養成と高度の専門的能力を有する職業人および人間性豊かな法律家を養成し、社会に送り出すために、学生が修了時に身につけるべき能力や知識を次のように定めています。修了要件を満たし論文審査に合格すれば、これらを身につけたものと認め、学位を授与します。

【博士前期課程】

1. 専攻分野に関する高度な専門知識を修得し、使いこなす能力
2. 研究課題の問題状況を正確に理解した上で、関係資料を幅広く分析し、独創性・構成力等の点で、ある程度の研究能力を示す修士論文またはリサーチペーパーを作成する能力

【博士後期課程】

1. 専攻分野に関する深い学識と高度な分析力を備え、その学識と分析力を基盤として独創的な課題を設定し、自らそれを解決・展開する能力
2. 研究課題についての学界の到達点を踏まえて、独創的な視点に基づいて高度の分析力・構成力を発揮し、専門的研究として評価しうる博士論文を作成する能力

3. 各専攻のカリキュラム・ポリシー

法律学専攻

本課程では、ディプロマ・ポリシーに沿って、法律学の諸分野における実定法の研究教育や基礎法・国際法・政治学・比較法などや、グローバル化や環境問題についても研究教育をおこなうよう、以下の趣旨を盛り込んだ科目によってカリキュラムを編成しています。

【博士前期課程】

学部で修得した法学・政治学全般の基礎知識の深化を図り、専攻科目の研究への移行を助け、高度な法的能力および政治的分析力の涵養を目指し、また、社会人については、社会で身につけた知識・経験を専攻科目と関連づけて、専門的視点および分析力の深化を目指す専門科目を置く。

【博士後期課程】

研究者養成を主な目的としながら、既存の法秩序や政治の枠を超えて生起する現代の諸問題の処理能力を養うことに重点を置き、また、社会で生起するさまざまな問題を論理的に再構成し、より高度な問題を処理できる実務能力を涵養する専門科目を置く。

法学専攻 博士前期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

(標準修業年限(2年) 修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅲ	2		M2対象
▶選択必修科目	2		M2対象, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修すること
▶選択科目	24		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		4	M1・M2対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される4科目以上合格すること
修士論文/リサーチペーパー(注)			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.170履修上の注意を参照。

(注) 専門職社会人養成コース入試による入学者は, リサーチペーパーのみ提出することができる。

(早期修了予定者)

要件項目名	必要 単位数	必要 科目数	備考(上限, その他)
総単位数	30		
授業科目			
▶必修科目	4		
└前期研究演習Ⅰ	2		M1対象
└前期研究演習Ⅱ	2		M1対象
▶選択科目	26		
└自専攻科目			
研究指導(必修)		2	M1対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される2科目以上合格すること ただし, 早期修了者については, 在学しない学期分は免除される
修士論文/リサーチペーパー(注)			必要な研究指導を受けた上, 修士論文の審査および試験に合格すること (修士論文を提出する学期の履修登録期間に必ず修士論文登録をすること) ※ただし, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。詳細についてはp.171履修上の注意を参照。

(注) 専門職社会人養成コース入試による入学者は, リサーチペーパーのみ提出することができる。

【研究指導スケジュール】

4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科（博士前期課程）における研究指導スケジュール（2年修了予定者、または早期修了予定者）」、および②「修士論文及びリサーチペーパーの作成・提出要領」を参照のこと。

【修士論文審査基準】

修士学位論文の位置づけと評価基準

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 修士の学位は、博士前期課程における履修と研鑽を通じて、専門的研究者としての能力水準をある程度具え、それが提出論文に充分反映されている場合に、これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また、この学位は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくのに必要な能力をある程度具えていると思科される場合に、これを授与するものとする。
- 2) 修士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法をある程度提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

【リサーチペーパーの提出要件および審査基準】

提出要件

博士前期課程の学生は、指導教授の承諾を得た上で、修士論文に代えてリサーチペーパーを提出することができる。

リサーチペーパーとして受理されるためには下記の要件を充足する必要がある、その審査も下記の要件を踏まえた観点から実施される。また、リサーチペーパー提出にかかる一連の取扱いは、「法学研究科法律学専攻博士前期課程の履修等に関する申し合わせ」の関連規定によるものとする。

なお、リサーチペーパーを提出した者は、本研究科博士後期課程入試において、筆記試験の免除を受けることはできない。

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出されたリサーチペーパーを次の水準及び審査項目について審査する。

審査基準

1. 特定の研究課題に沿った問題の所在が明確にされ、学説、判例、実務ないし実例等の検討がなされ、十分ではないものの自説の展開がなされていること。
2. 特定の研究課題を論じるにあたって必須と思われる基本的な文献が引照されていること。
3. 外国語文献を参照することが望ましいが、比較法的な検討は必ずしも要しないこと。
4. 形式的には、一般的な論文の体裁により作成され、少なくとも1万字を超えていること。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
前期研究演習Ⅰ ※注1	2		
前期研究演習Ⅱ	2		
前期研究演習Ⅲ	2		
前期研究演習Ⅳ		2	
前期論文演習		2	
課題研究			1
法哲学研究Ⅰ			2
法哲学研究Ⅱ			2
西洋法制史研究Ⅰ			2
西洋法制史研究Ⅱ			2
外国法研究Ⅲ			2
比較法研究Ⅰ			2
比較法研究Ⅱ			2
E U法研究			2
憲法研究Ⅰ			2
憲法研究Ⅱ			2
憲法研究Ⅲ			2
憲法研究Ⅳ			2
憲法研究Ⅴ			2
憲法研究Ⅵ			2
行政法研究Ⅰ			2
行政法研究Ⅱ			2
行政法研究Ⅲ			2
行政法研究Ⅳ			2
政治学研究Ⅰ			2
政治学研究Ⅱ			2
GENDER AND POLITICS 1			2
GENDER AND POLITICS 2			2
民法研究Ⅰ			2
民法研究Ⅱ			2
民法研究Ⅲ			2
民法研究Ⅳ			2
民法研究Ⅴ			2
民法研究Ⅵ			2
民法研究Ⅶ			2
民法研究Ⅷ			2
民法研究Ⅸ			2
民法研究Ⅹ			2
商法研究Ⅰ			2
商法研究Ⅱ			2
商法研究Ⅲ			2
商法研究Ⅳ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
商法研究Ⅴ			2
商法研究Ⅵ			2
商法研究Ⅶ			2
民事訴訟法研究Ⅰ			2
民事訴訟法研究Ⅱ			2
民事訴訟法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅰ			2
刑法研究Ⅱ			2
刑法研究Ⅲ			2
刑法研究Ⅳ			2
刑法研究Ⅴ			2
刑法研究Ⅵ			2
刑事訴訟法研究Ⅰ			2
刑事訴訟法研究Ⅱ			2
労働法研究Ⅰ			2
労働法研究Ⅱ			2
経済法研究Ⅰ			2
経済法研究Ⅱ			2
知的財産権法研究Ⅰ			2
知的財産権法研究Ⅱ			2
社会保障法研究Ⅰ			2
社会保障法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅰ			2
国際法研究Ⅱ			2
国際法研究Ⅲ			2
国際法研究Ⅳ			2
国際法研究Ⅴ			2
国際法研究Ⅵ			2
国際経済法研究Ⅰ			2
国際経済法研究Ⅱ			2
国際私法研究Ⅰ			2
国際私法研究Ⅱ			2
国際取引法研究Ⅰ			2
国際取引法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅰ			2
環境法研究Ⅱ			2
環境法研究Ⅲ			2
環境法研究Ⅳ			2
環境法研究Ⅴ			2
環境法研究Ⅵ			2
環境法研究Ⅶ			2
環境法研究Ⅷ			2

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)特殊講義(警察活動と法実務) ※注2			1
(他)LAW AND PRACTICE OF INTERNATIONAL BUSINESS TRANSACTIONS ※注2			1
(他)租税法Ⅰ ※注2			2
(他)租税法Ⅱ ※注2			2
(他)知的財産権法Ⅰ ※注2			2
(他)知的財産権法Ⅱ ※注2			2
(他)環境法政策 ※注2			2
(他)環境訴訟 ※注2			2
(他)ビジネス法務演習 ※注2			2
(他)国際経済学研究Ⅰ ※注3			2
(他)国際経済学研究Ⅱ ※注3			2
(他)国際政治経済論研究Ⅰ(経済学的アプローチ) ※注3			2
(他)国際政治経済論研究Ⅱ(経済学的アプローチ) ※注3			2
(他)対外政策研究Ⅰ ※注3			2
(他)対外政策研究Ⅱ ※注3			2
(他)比較政治学研究Ⅰ ※注3			2
(他)比較政治学研究Ⅱ ※注3			2
(他)国際関係論 INTERNATIONAL RELATIONS THEORY ※注4			2
(他)主権, 国家, 自由主義 SOVEREIGNTY, NATIONHOOD, LIBERALISM ※注4			2
(他)比較政治学Ⅰ COMPARATIVE POLITICS ※注4			2
(他)比較政治学Ⅱ DEMOCRACY IN GLOBALIZATION ※注4			2
(他)グローバル政治学Ⅲ GLOBAL POLITICS ※注4			4

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
(他)マス・コミュニケーション法制特講Ⅰ ※注5			2
(他)司法・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開) ※注6			2
(他)分野横断研究法：原理と技法 ※注6			2
(他)司法福祉研究 ※注7			2
(他)経営管理論特講Ⅰ ※注8			2
(他)財務会計論特講Ⅰ ※注8			2
(他)CORPORATE FINANCE ※注9			4
(他)環境経済学特講Ⅰ ※注9			2
(他)環境経済学特講Ⅱ ※注9			2
(他)国際環境法 ※注10			2
(他)グローバル・ガバナンス論 ※注11			2
(他)INTERNATIONAL MIGRATION AND GLOBAL POLITICS ※注11			2

※注1：早期修了予定者のみ対象

※注2：法曹養成専攻開講科目(詳細は法科大学院履修要綱参照, 授業日程・履修中止期間が異なるため, 開講学期の履修登録期間が始まる前に法律学専攻事務室に確認すること)

※注3：国際関係論専攻開講科目

※注4：グローバル社会専攻開講科目(詳細はEnglish-taught GRADUATE PROGRAMS「BULLETIN OF INFORMATION 2022-2023」参照)

※注5：新聞学専攻開講科目

※注6：心理学専攻開講科目

※注7：社会福祉学専攻開講科目

※注8：経営学専攻開講科目

※注9：経済学専攻開講科目

※注10：地球環境学専攻開講科目

※注11：国際協力学専攻開講科目

上記※3, 5~11の詳細は, 各専攻の履修要綱を確認すること

3. 履修上の注意

(標準修業年限(2年)修了予定者)

(9月修了予定者は4月第2月曜日までに法律学専攻事務室に申し出ること。)

- 「前期研究演習Ⅱ」及び「前期研究演習Ⅲ」の履修登録を行い, 学期末に研究報告書を提出すること。
- 2年次の秋学期においては, 指導教員と協議の上, 「前期研究演習Ⅳ」又は「前期論文演習」のいずれかを履修登録すること。
- 「前期論文演習」の履修登録を予定する者は, 2年次春学期末に開催する「研究報告会」において報告すること。
- 「前期論文演習」を履修登録した者は修士論文を提出し, 「前期研究演習Ⅳ」を履修登録した者はリサーチペーパーを提出すること。ただし, 「前期論文演習」履修登録者であっても, 指導教員の承認を得て, リサーチペーパーの提出をもって修士論文に代えることができる。
- 専門職社会人養成コース入試による入学者は, リサーチペーパーのみ提出することができる。

- 6) 修士論文、又はリサーチペーパーを提出した者は、2年次秋学期末に法学会が開催する「研究報告会」で報告すること。
- 7) 「前期研究演習Ⅱ～Ⅳ」、又は「前期研究演習Ⅱ～Ⅲ」及び「前期論文演習」の6単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 8) 「研究指導・課題研究・前期研究演習・前期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 9) 「研究指導」を在学中、每学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 10) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位(1学期1単位)まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。

- 11) 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」(総合人間科学研究科心理学専攻開講 2022年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目)について

分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設される。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。

定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできないので注意すること。

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

(早期修了予定者)

- 1) 上智大学大学院学則第21条第3項に規定する1年間の在学期間(早期修了)を希望する者は、指導教員の承認を得て、1年次4月第2月曜日までに、「早期修了申請書」(*所定用紙)を法学研究科委員長(法律学専攻事務室)に届け出ること。なお、本学の法律学専攻博士後期課程進学希望者は、早期修了を希望することができない。同項に規定する「優れた業績を上げた者」とは、修了に必要な修得単位の成績評価のGPAが3.4以上であり、修士論文又はリサーチペーパーが審査委員会によってB以上と評価された者とする。
- 2) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の履修登録を行うこと。
- 3) 1年次春学期末に研究報告書を提出し、1年次秋学期末に修士論文又はリサーチペーパーを提出すること。
- 4) 専門職社会人養成コース入試による入学者は、リサーチペーパーのみ提出することができる。
- 5) 修士論文又はリサーチペーパーを提出した者は、1年次秋学期末に法学会が主催する「研究報告会」で報告すること。
- 6) 「前期研究演習Ⅰ」、「前期研究演習Ⅱ」の4単位を含めて、合計30単位以上を履修すること。
- 7) 「研究指導」を在学中每学期履修し、必要な科目に合格しなければならない。必要な合格科目数は「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 8) 早期修了の予定を取り消す者については、指導教員の承認を得て、2022年11月14日～11月25日の期間(修士論文題目提出期間)に、「早期修了取消届出書」(*所定用紙)を、法学研究科委員長(法律学専攻事務室)に届け出ること。その者の履修は、上記の標準修業年限(2年)修了予定者に準ずる。
- 9) 「課題研究」とは、①常勤で就労する学生のみ履修登録することができ、②博士前期課程在籍中に2単位(1学期1単位)まで取得することができ、③履修登録に際しては、あらかじめ指導教員と問題設定等について相談して研究計画を立て、その了解を得ること。

なお、「課題研究」の履修登録を予定する者は、履修登録期間前までに法律学専攻事務室に*所定用紙を提出すること。

- 10) 「(他) 分野横断研究法：原理と技法」(総合人間科学研究科心理学専攻開講 2022年度秋学期 金曜日5時限 2単位科目)について

分野横断型の科目として、2022年度から新たに開設される。本科目により修得した単位は、自専攻科目として修了に必要な単位に算入される。

定員30名の抽選科目となるので、抽選エントリーの期間や方法、抽選後の先着順での登録方法等については、2022年度履修要覧〔ガイド・資料編〕p.31を参照すること。履修登録を行わずに授業に出席することはできないので注意すること。

*上記所定用紙は、法律学専攻事務室にて配付。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
MLLW1123	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	永野 仁美		M1 早期修了予定者対象
MLLW1118	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	駒田 泰士		M1 早期修了予定者対象
MLLW1124	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	北村 喜宣		M1 早期修了予定者対象
MLLW1135	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	梅村 悠		M1 早期修了予定者対象
MLLW1151	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	岩下 雅充		M1 早期修了予定者対象
MLLW1137	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	大橋 真由美		M1 早期修了予定者対象
MLLW1153	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	永下 泰之		M1 早期修了予定者対象
MLLW1101	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	奥田 純一郎		M1 早期修了予定者対象
MLLW1102	春	前期研究演習 I	LAW501-41m00	2	松本 尚子		M1 早期修了予定者対象
MLLW1323	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	永野 仁美		M1 対象
MLLW1318	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	駒田 泰士		M1 対象
MLLW1344	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	北村 喜宣		M1 対象
MLLW1335	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	梅村 悠		M1 対象
MLLW1351	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	岩下 雅充		M1 対象
MLLW1337	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	大橋 真由美		M1 対象
MLLW1353	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	永下 泰之		M1 対象
MLLW1301	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	奥田 純一郎		M1 対象
MLLW1302	秋	前期研究演習 II	LAW502-41m00	2	松本 尚子		M1 対象
MLLW1428	春	前期研究演習 III	LAW601-41m00	2	桑原 勇進		M2 対象 (前期研究演習 II を修得済みであること)
MLLW1451	春	前期研究演習 III	LAW601-41m00	2	越智 敏裕		M2 対象 (前期研究演習 II を修得済みであること)
MLLW1426	春	前期研究演習 III	LAW601-41m00	2	川瀬 剛志		M2 対象 (前期研究演習 II を修得済みであること)
MLLW1424	春	前期研究演習 III	LAW601-41m00	2	永野 仁美		M2 対象 (前期研究演習 II を修得済みであること)
MLLW1438	春	前期研究演習 III	LAW601-41m00	2	大橋 真由美		M2 対象 (前期研究演習 II を修得済みであること)
<選択必修科目>							
MLLW1528	秋	前期研究演習 IV	LAW602-41m00	2	桑原 勇進		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1551	秋	前期研究演習 IV	LAW602-41m00	2	越智 敏裕		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1526	秋	前期研究演習 IV	LAW602-41m00	2	川瀬 剛志		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1524	秋	前期研究演習 IV	LAW602-41m00	2	永野 仁美		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1628	秋	前期論文演習	LAW603-41m00	2	桑原 勇進		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1651	秋	前期論文演習	LAW603-41m00	2	越智 敏裕		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1626	秋	前期論文演習	LAW603-41m00	2	川瀬 剛志		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)
MLLW1624	秋	前期論文演習	LAW603-41m00	2	永野 仁美		M2 対象 (前期研究演習 III を修得済みであること)

登録 コード	開 講 期	科目名	ナンバリング	単 位 数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国 語	備考
<選択科目>※重複履修可(他専攻開講科目については、各専攻に確認すること)							
MLLW7740	休講 △	課題研究	LAW506-41m00	1	法学専攻各指導教員		M1・M2対象, △履修登録希望者がいる場合, 春学期開講
MLLW7750	休講 △	課題研究	LAW506-41m00	1	法学専攻各指導教員		M1・M2対象, △履修登録希望者がいる場合, 秋学期開講
MLLW7010	春	法哲学研究Ⅰ(法哲学文献講読)	JUR501-41m00	2	奥田 純一郎		隔年開講
MLLW7020	休講	法哲学研究Ⅱ(正義論文献講読)	JUR502-41m00	2			隔年開講
MLLW7030	春	西洋法制史研究Ⅰ (ヨーロッパ近世・近代史)	JUR503-41m00	2	松本 尚子		隔年開講
MLLW7040	休講	西洋法制史研究Ⅱ (ヨーロッパ現代史)	JUR504-41m00	2			隔年開講
MLLW7070	春	外国法研究Ⅲ(ドイツ法文献講読)	JUR506-41m00	2	松本 尚子		
MLLW7081	休講	比較法研究Ⅰ(比較法関連文献講読)	JUR508-41m00	2			
MLLW7090	春	比較法研究Ⅱ(英米法文献講読)	JUR507-41m00	2	東 史彦		
MLLW7051	秋	EU法研究 (現代ヨーロッパ法関連文献講読)	JUR509-41m00	2	東 史彦		
MLLW7100	春	憲法研究Ⅰ(憲法判例研究)	PBL501-41m00	2	上田 健介		
MLLW7110	秋	憲法研究Ⅱ(憲法解釈理論)	PBL502-41m00	2	上田 健介		
MLLW7790	春	憲法研究Ⅲ(憲法判例研究)	PBL503-41m00	2	巻 美矢紀		
MLLW7120	秋	憲法研究Ⅳ(憲法理論研究)	PBL504-41m00	2	巻 美矢紀		
MLLW7130	休講	憲法研究Ⅴ(憲法理論研究)	PBL505-41m00	2			
MLLW7140	休講	憲法研究Ⅵ(憲法判例研究)	PBL506-41m00	2			
MLLW7150	秋	行政法研究Ⅰ(行政法判例研究)	PBL507-41m00	2	大橋 真由美		
MLLW7160	休講	行政法研究Ⅱ(行政法判例研究)	PBL508-41m00	2			
MLLW7170	休講	行政法研究Ⅲ(行政法判例研究)	PBL509-41m00	2			
MLLW7180	休講	行政法研究Ⅳ(行政法判例研究)	PBL510-41m00	2			
MLLW7190	春	政治学研究Ⅰ(政治経済文献講読)	POL507-41m00	2	加藤 浩三		
MLLW7200	秋	政治学研究Ⅱ(リサーチデザイン)	POL508-41m00	2	加藤 浩三		
MLLW7211	春	GENDER AND POLITICS 1	POL509-41e00	2	MIURA Mari		
MLLW7221	秋	GENDER AND POLITICS 2	POL510-41e00	2	MIURA Mari		
MLLW7250	秋	民法研究Ⅰ (物権法・債権法の重要論点)	CVL501-41m00	2	小山 泰史		
MLLW7260	秋	民法研究Ⅱ(民法学の諸問題1)	CVL502-41m00	2	善塔 章夫		
MLLW7270	秋	民法研究Ⅲ(代理法の諸問題1)	CVL503-41m00	2	溝渕 将章		
MLLW7280	春	民法研究Ⅳ(民法学の諸問題2)	CVL504-41m00	2	善塔 章夫		
MLLW7290	春	民法研究Ⅴ(代理法の諸問題2)	CVL505-41m00	2	溝渕 将章		
MLLW7300	秋	民法研究Ⅵ (ドイツ損害賠償法の検討)	CVL506-41m00	2	永下 泰之		
MLLW7310	春	民法研究Ⅶ(改正物権法の諸問題)	CVL507-41m00	2	伊藤 栄寿		
MLLW7320	秋	民法研究Ⅷ(民法判例の研究)	CVL508-41m00	2	伊藤 栄寿		
MLLW7330	春	民法研究Ⅸ(親族法の諸問題)	CVL509-41m00	2	羽生 香織		
MLLW7340	秋	民法研究Ⅹ(相続法の諸問題)	CVL510-41m00	2	羽生 香織		
MLLW7350	春	商法研究Ⅰ(ドイツ会社法判例講読)	CML501-41m00	2	伊藤 雄司		
MLLW7360	秋	商法研究Ⅱ(ドイツ会社法文献講読)	CML502-41m00	2	伊藤 雄司		
MLLW7370	春	商法研究Ⅲ(会社法判例研究)	CML503-41m00	2	土田 亮		
MLLW7380	春	商法研究Ⅳ (コーポレート・ガバナンス研究)	CML504-41m00	2	土田 亮		
MLLW7820	春	商法研究Ⅴ(商事判例研究)	CML505-41m00	2	梅村 悠		
MLLW7830	秋	商法研究Ⅵ(英米商事法研究)	CML506-41m00	2	梅村 悠		

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MLLW7381	秋	商法研究Ⅶ(会社法判例研究)	CML507-41m00	2	早川 咲耶		
MLLW7390	秋	民事訴訟法研究Ⅰ (民事手続法の理論研究)	CPL501-41m00	2	原 強		
MLLW7400	秋	民事訴訟法研究Ⅱ (倒産処理法の判例研究)	CPL502-41m00	2	田頭 章一		
MLLW7410	春	民事訴訟法研究Ⅲ (民事訴訟法の判例研究)	CPL503-41m00	2	安西 明子		
MLLW7920	春	刑法研究Ⅰ (刑法における重要判例の検討①)	CRL501-41m00	2	佐藤 結美		
MLLW7930	秋	刑法研究Ⅱ (刑法における重要判例の検討②)	CRL502-41m00	2	佐藤 結美		
MLLW7940	春	刑法研究Ⅲ(刑法理論の検討)	CRL503-41m00	2	伊藤 涉		
MLLW7950	秋	刑法研究Ⅳ (現代社会における刑法の機能)	CRL504-41m00	2	伊藤 涉		
MLLW7960	春	刑法研究Ⅴ(重要論点の検討①)	CRL505-41m00	2	照沼 亮介		
MLLW7970	秋	刑法研究Ⅵ(重要論点の検討②)	CRL506-41m00	2	照沼 亮介		
MLLW7980	春	刑事訴訟法研究Ⅰ (刑事手続法の理論と政策)	CRL507-41m00	2	岩下 雅充		
MLLW7990	秋	刑事訴訟法研究Ⅱ (刑事手続法判例研究)	CRL508-41m00	2	岩下 雅充		
MLLW7440	春	労働法研究Ⅰ(雇用関係法)	SCL501-41m00	2	富永 晃一		
MLLW7450	秋	労働法研究Ⅱ(労使関係法)	SCL502-41m00	2	富永 晃一		
MLLW7460	休講	経済法研究Ⅰ(独占禁止法)	SCL503-41m00	2			隔年開講
MLLW7470	秋	経済法研究Ⅱ(公共調達と法)	SCL504-41m00	2	楠 茂樹		隔年開講
MLLW7480	春	知的財産権法研究Ⅰ(著作権法)	SCL505-41m00	2	駒田 泰土		
MLLW7490	秋	知的財産権法研究Ⅱ(特許・商標法)	SCL506-41m00	2	駒田 泰土		
MLLW7660	春	社会保障法研究Ⅰ (社会保障法政策研究)	SCL507-41m00	2	永野 仁美		
MLLW7670	秋	社会保障法研究Ⅱ (社会保障法判例研究)	SCL508-41m00	2	永野 仁美		
MLLW7500	春	国際法研究Ⅰ(国際法総論)	INL501-41m00	2	江藤 淳一		
MLLW7510	秋	国際法研究Ⅱ(国際紛争処理)	INL502-41m00	2	江藤 淳一		
MLLW7520	春	国際法研究Ⅲ(判例研究)	INL503-41m00	2	兼原 敦子		
MLLW7530	休講	国際法研究Ⅳ(文献講読)	INL504-41m00	2			
MLLW7780	秋	国際法研究Ⅴ(海洋法研究)	INL507-41m00	2	堀口 健夫		
MLLW7800	春	国際法研究Ⅵ(国際環境法研究)	INL508-41m00	2	堀口 健夫		
MLLW7560	春	国際経済法研究Ⅰ (国際経済法の基本枠組み)	INL505-41m00	2	川瀬 剛志		
MLLW7570	秋	国際経済法研究Ⅱ (国際経済判例研究)	INL506-41m00	2	川瀬 剛志		
MLLW7600	春	国際私法研究Ⅰ(比較国際私法)	PIL501-41m00	2	出口 耕自		
MLLW7610	秋	国際私法研究Ⅱ (比較国際民事訴訟法)	PIL502-41m00	2	出口 耕自		
MLLW7630	春	国際取引法研究Ⅰ (国際取引法文献講読1)	PIL503-41m00	2	森下 哲朗		
MLLW7640	秋	国際取引法研究Ⅱ (国際取引法文献講読2)	PIL504-41m00	2	森下 哲朗		
MLLW7680	休講	環境法研究Ⅰ(住生活環境法研究)	ENL501-41m00	2			
MLLW7690	春	環境法研究Ⅱ(環境法理論研究)	ENL502-41m00	2	北村 喜宣		
MLLW7700	秋	環境法研究Ⅲ(環境法の基礎理論)	ENL503-41m00	2	桑原 勇進		
MLLW7710	休講	環境法研究Ⅳ(環境法の基本原則)	ENL504-41m00	2			

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
MLLW7720	休講	環境法研究V(まちづくり・観光と法)	ENL505-41m00	2			
MLLW7730	春	環境法研究VI(環境判例研究)	ENL506-41m00	2	越智 敏裕		
MLLW7890	休講	環境法研究VII(環境法事例研究)	ENL507-41m00	2			
MLLW7891	秋	環境法研究VIII(環境法文献講読)	ENL508-41m00	2	筑紫 圭一		
他専攻より借り入れている科目(自専攻開講科目扱い)については、p.169～「2. 授業科目の編成・単位」に記載							
<修士論文>							
MLLW9020	秋	修士論文/リサーチペーパー	LAW699-41m00	0	法学専攻各指導教員		M2(M1早期修了予定者含む)対象
MLLW9021	春	修士論文/リサーチペーパー	LAW699-41m00	0	法学専攻各指導教員		M2(9月修了予定者)対象

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW599-41m00	桑原 勇進	
	大橋 真由美	
	越智 敏裕	
	川瀬 剛志	
	永野 仁美	
	駒田 泰士	
	北村 喜宣	
	梅村 悠	
	岩下 雅充	
	永下 泰之	
	奥田 純一郎	
	安西 明子	
	松本 尚子	

法学専攻 博士後期課程

1. 修了に要する科目, 単位数, 科目数などの要件

【17年次生以降】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導 (必修)		6	D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される 6科目以上合格すること
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【16年次生以前】

要件項目名	必要単位数	必要科目数	備考 (上限, その他)
総単位数	20		
授業科目			
▶必修科目	12		
└後期論文演習Ⅰ－A	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅰ－B	2		D 1 対象
└後期論文演習Ⅱ－A	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅱ－B	2		D 2 対象
└後期論文演習Ⅲ－A	2		D 3 対象
└後期論文演習Ⅲ－B	2		D 3 対象
▶選択科目	8		
研究指導 (必修)			D 1・D 2・D 3 対象, 単位なし, 在学中毎学期履修登録される
博士論文			必要な研究指導を受けた上, 博士論文の審査および試験に合格すること

【研究指導スケジュール】

4月初旬の新入生専攻別ガイダンスにおいて配布される①「法学研究科 (博士後期課程) における研究指導スケジュール」, および②「博士論文 (課程博士) の作成・提出要領」を参照のこと (①については, 2019年度入学生から適用)。

【博士論文審査基準】

博士学位論文の位置づけと評価基準

ディプロマ・ポリシーに掲げた能力等を把握するために、提出された論文を次の水準及び審査項目について審査する。

- 1) 博士の学位は、博士後期課程において履修と研鑽を通じて、専門的研究者としての能力水準を十分に具え、それが提出論文に充分反映されている場合に、これを授与するものとする（課程「修了」の証明）。また、この学位は、爾後、学界において研究者としての活動を継続・発展させていくのに必要な能力を十分に具えていると思料される場合に、これを授与するものとする。
- 2) 博士の学位論文は、主題に関する学界での到達点を適切に理解し、かつこれをさらに発展させるための斬新な視点ないし切り口・分析方法を十分に提示していること、論文全体に一貫性・実証性・独創性が認められ、構成力と表現力において優れていること等が必要である。

2. 授業科目の編成・単位

科目名 ※(他)：他専攻開講科目	単位数		
	必修	選必	選択
<必修科目>			
後期論文演習Ⅰ-A	2		
後期論文演習Ⅰ-B	2		
後期論文演習Ⅱ-A	2		
後期論文演習Ⅱ-B	2		
後期論文演習Ⅲ-A	2		
後期論文演習Ⅲ-B	2		
<選択科目>			
法学学政治学特殊研究Ⅰ			2
法学学政治学特殊研究Ⅱ			2
法学学政治学特殊研究Ⅲ			2
法学学政治学特殊研究Ⅳ			2
選択科目は上記4科目および法学学専攻前期課程の選択科目（【課題研究】除く）から履修すること（p.172～p.175参照）※重複履修可（他専攻開講科目については、各専攻に確認すること）			

3. 履修上の注意

- 1) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」、「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」の履修登録を行い、かつ各年度末には研究報告書を提出すること。
- 2) 「後期論文演習Ⅰ-A」、「後期論文演習Ⅰ-B」、「後期論文演習Ⅱ-A」、「後期論文演習Ⅱ-B」、「後期論文演習Ⅲ-A」、「後期論文演習Ⅲ-B」（12単位）を含めて20単位以上を履修すること。
- 3) 「研究指導・後期論文演習」は、指導教員の科目を履修すること。
- 4) 「研究指導」を在籍中（標準修業年限を超えて在籍する者も含む）毎学期受けること。なお、2017年次生以降の学生については、必要な合格科目数も定められている。「1. 修了に要する科目、単位数、科目数などの要件」を参照すること。
- 5) 後期課程の単位を取得したが学位論文を提出することなくその課程を満期退学しようとする者は、それまでの研究成果をまとめて論文として提出し、研究科委員会の承認を受けること。

4. 開講科目一覧表

登録コード	開講期	科目名	ナンバリング	単位数	担当教員名 ※(他):他専攻教員 *:非常勤教員	外国語	備考
<必修科目>							
	休講	後期論文演習Ⅰ－A	LAW801-41m00	2			D1 対象
	休講	後期論文演習Ⅰ－B	LAW802-41m00	2			D1 対象(後期論文演習Ⅰ－Aを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅱ－A	LAW803-41m00	2			D2 対象(後期論文演習Ⅰ－Bを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅱ－B	LAW804-41m00	2			D2 対象(後期論文演習Ⅱ－Aを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅲ－A	LAW805-41m00	2			D3 対象(後期論文演習Ⅱ－Bを修得済みであること)
	休講	後期論文演習Ⅲ－B	LAW806-41m00	2			D3 対象(後期論文演習Ⅲ－Aを修得済みであること)
<選択科目>※重複履修可(他専攻開講科目については、各専攻に確認すること)							
DLLW7000	秋	法学政治学特殊研究Ⅰ	LAW807-41m00	2	出口 耕自		D1・D2・D3 対象
DLLW7010	休講	法学政治学特殊研究Ⅱ	LAW808-41m00	2			D1・D2・D3 対象
DLLW7020	休講	法学政治学特殊研究Ⅲ	LAW809-41m00	2			D1・D2・D3 対象
DLLW7030	休講	法学政治学特殊研究Ⅳ	LAW810-41m00	2			D1・D2・D3 対象
上記4科目以外の選択科目については、p.169「2. 授業科目の編成・単位」に記載							

5. 研究指導一覧表

ナンバリング	担当教員名	備考
LAW899-41m00	出口 耕自	